

こっこめ通信 12 2023

「もっと来てくれてもいいのに」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

本土では晴れの特異日として知られる 11 月 3 日ですが、雨の多い八丈島ではそうとも限りません。そんな 11 月 3 日を八丈島民は大人も子供も楽しみにしています。実はその日に小学校の運動会があります。

数年前まで島の小学校が揃って運動会を行っていましたが、今は坂下地区の 2 校がこの日に開催しています。娯楽があまりなかった時代から、運動会は島民にとって大きなイベントでした。子供たちへの応援は当たり前ですが、地区対抗リレーや職場対抗リレーなどで大人たちが盛り上がる競技もあり、白熱した熱戦が展開されます。

そんな訳で大人も子供もみんな、雨が降らないように祈るのです。今年はという、爽やかな秋晴れで絶好の運動会日和でした。無事に開催できて良かったです。

さて、今回は「久しぶりに確認された鳥」と「(独断と偏見で選んだ)その後のあの植物」のお話です。 (M.K.)

久しぶりの記録

コハクチョウ(幼鳥)



2023年11月16日 神湊漁港

11 月 16 日、島民の方から「神湊漁港にハクチョウがいる」との情報をいただき、確認に行きました。

漁港内に浮いていたのは、体が灰色味を帯び、嘴がピンク色の『コハクチョウの幼鳥』でした。(当初、ホームページなどではオオハクチョウの幼鳥と誤同定していました)初めは漁港の中央付近にいたようですが、だんだんと陸地に近づき、カヌー揚場のスロープ付近で時々目を閉じ、ウトウトしていました。風も強く吹いていたので、やっとのことです。とり着いたのかもしれませんが。

その後、神湊の道路を歩いている、底土の道路を歩いているなどの情報がありましたが、11 月 20 日を最後に目撃の情報は入っていません。

コハクチョウは 2020 年 11 月以来、3 年ぶりの記録となります。

タゲリ



2023年11月20日 底土海水浴場駐車場

11 月 20 日、底土海水浴場の駐車場でちょこちょこ動き回っていたのは『タゲリ』でした。

天気が良く、日の光に当たっていた背中羽根が虹色に輝き、とても綺麗で見惚れてしまいました。

こちらは 2021 年 11 月以来、2 年ぶりの記録になります。八丈島では極めて稀な旅鳥で、今までの記録を振り返ってみると、春よりも初冬の頃の記録が多いようです。(ビジター調べの記録で、3 月 2 回、5 月 1 回、11 月 6 回、12 月 1 回)

タゲリは見た感じが雌雄であまり変わらず、この子がオスなのかメスなのか判りませんが、私はタゲリを見ると、平安時代の貴族に似ているなどと思ってしまいます。数日間、同じ場所で見られたのは土の中に虫が多かったからでしょうか? (M.K.)

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

この実の花ってどんな花？

立冬も過ぎ、11月も下旬に入るといろいろな実が目立つようになってきました。

さて、左側の実は春や夏にはどんな花が咲いていたかな？右側の花と線で結んでみましょう。覚えている？



<答え>

「A. キバナシュクシャ＝お B. モッコク＝え C. オオムラサキシキブ＝い D. ソテツ＝か E. スダジイ＝あ F. ヤブツバキ＝う」でした。みなさん、いかがでしたか？この実の花を思い出していただけましたか？

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、前回の調査では未熟でまだ硬そうな果実が、今回は美味しそう（見た感じでは）に熟してきており、実りの秋を感じながらの調査となりました。今回はシダ植物 15 種を含む、74 種の植物を観察しました。(M.K.)

八丈植物公園季節調査（2023 年度第 8 回）11 月 12 日（日）、天気：曇り、気温：17.2℃、調査者：小池、西喜、VC 木下、VC 奥山

1	ヤブニッケイ	熟した実			
2	タコノキ	葉、気根の長さ：30 cm、太さ：11.0 cm、雌木には若い実			
3	オオタニワタリ	新芽 28 本（内 1 枚葉先が折れる）、最少丈 100 cm、幅 15 cm 日葉裏には綺麗なワカバグモ			
4	ニオイウツギ	若葉が目立ち、縮れた葉が隠れる			
5	ニオイバンマツリ	葉			
6	オオシマザクラ	落葉すすむ、新芽目立つ（季節外れ）			
7	アオノクマタケラン	色づき始めた実	30	スダジイ	実
8	アオビロウ	若い実	31	ストレチア	花
9	アカビロウ	花残る・若い実	32	セイヨウタンポポ	花
10	アシタバ	実	33	センダン	黄葉・熟した実
11	イヌビワ	実	34	センニンソウ	実
12	イヌマキ	熟し始めた実実	35	ソテツ	実・大胞子葉
13	ウスベニニガナ	花	36	タブノキ	鱗芽
14	エノキ	実残る	37	チヂミザサ	花
15	オオムラサキシキブ	色付き始めた実	38	ツマベニアナナス	花殻
16	オニタビラコ	花	39	ツルソバ	花・実
17	ガクアジサイ	実	40	ツワブキ	開花間近の蕾
18	ガザニア	花と実	41	テイカカズラ	実鞘
19	カラムシソウ	実	42	トベラ	若い実
20	キツタ	花咲き始め	43	ナキリスゲ	実
21	キツネノマゴ	実	44	ハゼノキ	実
22	キバナシュクシャ	爆ぜた実	45	ハチジョウアザミ	花・蕾
23	キョウチクトウ	花	46	ハチジョウキブシ	花芽
24	クラリンドウ	蕾・花	47	ハチジョウクサイチゴ	紅葉
25	ケナシノジスミレ	閉鎖花	48	ヒガンバナ	葉
26	コミカンソウ	実	49	ヒサカキ	蕾
27	シマクサギ	若い実・花	50	ヒナギキョウ	実
28	シマモクセイ	花	51	ヒメユズリハ	実
29	ススキ sp.	花	52	フウトウカズラ	若い実
					シダ植物
				1	イシカグマ
				2	オニヤブソテツ
				3	カニクサ
				4	タチクラマゴケ
				5	タマシダ
				6	ナチシケシダ
				7	ノキシノブ
				8	ハカタシダ
				9	ハチジョウカナワラビ
				10	ハチジョウシダ
				11	ヒトツバ
				12	ヘラシダ
				13	ホシダ
				14	マツバラソ
				15	マメヅタ

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、久しぶりに渡ってきた「コハクチョウ」にスポットを当ててみたいと思います。



コハクチョウ

Cygnus columbianus

カモ科ハクチョウ属。冬鳥として本州以北に飛来。八丈島へは渡りのルートから外れてしまった個体が来るようです。以下はビジターセンターが把握しているこれまでの記録になります。

1986年04月	1羽	(山階鳥類研究所にて標本)
1996年10月	1羽	
1997年11月	6羽	
2000年11月	1羽	(末吉の運動会に飛来)
2001年12月	1羽	
2006年12月	1羽	

2007年10月	2羽	
2010年10月	4羽	(成鳥2羽、幼鳥2羽)
2013年10月	1羽	(成鳥1羽)
2019年01月	1羽	(幼鳥1羽)
2020年11月	1羽	(成鳥1羽)
2023年11月	1羽	(幼鳥1羽)

2023 12

ハチビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、ハチ島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	5	6	大雪 7	8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12	13	14	15	16 ガイドウォーク 冬の特別行事 「小さなツリー を作ろう」
17 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」	18	19	20	21	冬至 22	23 ガイドウォーク ハチ学講座 「巣箱を作ろう」
24 ガイドウォーク	25	26	27	28	29 ガイドウォーク	30 ガイドウォーク
31 ガイドウォーク						

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
12/10 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

冬の特別行事 「小さなツリーを作ろう」

クロマツのまつぼっくりとハマボッスやカラスザンショウの小さな実を使ってツリーを作ります。
12/16 (14:00～16:00 時間内であれば好きな時間に来て参加可能です)
だれでも ビジターセンターにて 参加費：無料

冬の特別行事 「リースを作ろう」

島にある自然素材を使ってリースを作ります。
12/17 (13:30～ 約1時間半) 小学生以上(小学生は保護者と一緒に・未就学児の同伴はご遠慮ください)
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ハチ学講座 「巣箱を作ろう」

毎月行っているハチ学講座。シジュウカラ用の巣箱を作って植物公園内に設置します。
12/23 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上もしくは小学生と保護者(未就学児の同伴はご遠慮ください)
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10組

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ ハチ・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ ハチ島

14:00～ おじゃりやれ ハチ島

15:00～ おじゃりやれ ハチ島

16:00～ ハチ・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都ハチビジターセンター 2023.12.1 第271号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都ハチ島ハチ町大賀郷2843

電話: 04996-2-4811 Fax: 04996-2-4888

E-mail: info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

季節の変わり目はいつでも天候が崩れやすいハチ島。11月中旬以降、台風のような天気が続き、定期船の欠航が多かったです。いよいよ今年も残すところ1カ月を切ってしまいました。今年こそ(毎年思ってますが…)、年内にやらなければならぬことをきっちり終わらせ、気持ち良く新年を迎えたいですね。(M.K.)